

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	茨木市立児童発達支援センターあけぼの学園
------	----------------------

公表日 令和8年 4月 30日

利用児童数 64 (配布数60)

回収数 53

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	5	2		工夫して活動スペースを作っていると思うが、クラスの室内スペースが狭いと思う。園庭も園児が全員で遊ぶには狭い。	面積を増やすことは困難ですが、今後も環境設定の仕方を工夫してまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	48	3	2		十分すぎるほど手厚いと感じる。頑張って支援をさせていただいていると感じるが、もう少し人がいた方が良いと思う。特に、1対1対応が必要な状況があった時などには、人が少ないと感じる。	職員を設置基準以上に配置しておりますが、今後も安心してご利用いただけるよう、職員全員で協力して支援してまいります。また、全体の状況と各クラスの活動内容に応じて、配置の優先度などを考えながら職員を配置してまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	51	2			視覚支援などの工夫が多くあり、こどもにわかりやすい環境になっているが、冷たい水での手洗いや便座に座るなどは感覚過敏のお子さんにはつらいだろうと感じるので、時代に合った環境整備をしてもらえるとうれしい。清掃はしてあると感じるが、建物が古い。心地良いとは感じない。	こどもや保護者が安全に、少しでも気持ちよく過ごしていただけるよう、清掃を行っています。令和7年度は、さくらんぼ組、みかん組の床材の張替え、保健室の空調機器の取り換え、窓ガラスの修繕等を行いました。今後も計画的に改修してまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42	8	2	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	51		2		言語や発達検査などが実施され、ひとりひとりに合った支援をされていると感じる。こどもの特性に応じた支援をされており、こどもの成長につながった。担当の職員だけでなく、言語聴覚士、作業療法士、心理士とも、悩みや課題に応じて相談ができる。	今後もより専門性を高めていけるよう、職員研修を行っていくとともに、職員間でのこどもの情報共有を行い、支援内容に関する意見交換などを行ってまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51		1	1	支援プログラムがどんなものかわからない。	あけぼの学園ホームページで支援プログラムを公表しております。今後も理解していただけるよう努めてまいります。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	51	1	1		保護者アンケートでニーズを把握してもらっている。特性や性格などを考慮したうえで、個別支援計画に反映してもらえる。親が気づいていないことも考慮されている。	支援計画作成時の懇談会などを通して、ご理解いただけるよう努めてまいります。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	50			1	2	専門的なことばが多く、わからないことがある。	今後もご理解していただけるよう、わかりやすい説明に努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	53					ひとりひとりに応じた支援計画が作成され、こどもの成長に応じていろいろな提案をしてもらえる。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	46	6	1			曜日によって内容が分けられ、様々な体験ができていて感じる。季節ごとに園庭遊びの内容の工夫がされている。変化の苦手なこどもによっては、ある程度の固定化は必要と感じる。	研修や他施設の見学などで得た情報なども共有しながら、こどもの様子に合わせて支援内容を考えてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	52		1			見学会や説明会などで説明するとともに、あけぼの学園ホームページで支援プログラムの公表を行っております。	
	12 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53					今後もこどもの様子や支援についてわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。	
	13 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50	2			1	積極的に研修会のお知らせがある。	アンケートをもとにニーズを考慮したテーマ選びを心がけています。今後も年3回保護者プログラムを行ってまいります。
	14 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	51	1	1			担当職員と毎日直接お話しすることはできませんが、連絡帳でのやり取りなどを通じて理解できていると感じる。	

	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	52	1			わかりやすい助言をいただくことが多く、ありがたい。	今後も様々な機会を通じて、ご相談に対応してまいります。ご相談がありましたら遠慮なくお声掛けいただければと思います。	
保護者への説明等	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	3		1	担当外の先生も状況を把握され、タイミングよく支援されていると感じ感謝している。細かいことでも話を聞いて対応策を一緒に考えてもらえる。	今後も保護者やご家族と園が連携しながら子どものより良い成長につながる関わりができるよう努めてまいります。	
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	42	6	1	3	保護者会への協力やきょうだいも参加できる行事はあったが、きょうだい同士の交流の場はなかった。きょうだい参加のイベントがもう少しあると良い。 園のプール開放や日曜参観での遊びのコーナーにきょうだいも参加して楽しんでいた。	今後も保護者会との連携を大切にしたいと考えています。 日曜参観やプール、ホールなどの開放を行い、きょうだいも一緒に参加していただける機会を設けました。	
	18	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	51	2				今後も安心していただけるよう、ご相談や申し入れに応じ、具体的に丁寧な説明を心がけてまいります。	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	49	4				園で流行っている病気は保健だより以外でもお知らせをもらえると、保護者も把握しやすいと思います。	今後も連絡ノートや電話、臨時のお知らせなどを通じて、わかりやすい情報伝達に努めてまいります。
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	48	3	1	1		クラスだよりなどの紙媒体で十分してもらっている。 印刷が雑だと感じる。 ホームページを見たことがないが、あるのでしょうか。	ホームページを定期的に更新しております。今後も少しでもイメージやすく、わかりやすい情報提供に努めてまいります。
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	46	2	2	1		わからない	子どもに関する記録等の個人情報は全て、カギ付きのロッカーに保管しています。今後も個人情報の取扱いに留意してまいります。
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	49	2	1	2		各種マニュアルの説明は具体的にはなかった。	避難訓練や緊急時の対応訓練などを定期的に実施しております。 各種マニュアルを閲覧できるよう用意しておりますので、周知に努めてまいります。 訓練の様子も知ってもらえるような機会についても検討してまいります。
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	51	1		1		避難訓練自体は見えていない。 具体的な様子は知らない。	
	24	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	52			1			
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	49	2	1	1		連絡帳や電話等での説明がしてもらっている。けがをしたときすぐに連絡があった。 園内でけがをしたときに病院に行くという説明はあったが、何センチ切って何針縫ったかの説明はドクターに確認しなければならなかった。	今後も情報を的確にお伝えできるよう、具体的な説明を心がけてまいります。
満足度	26	子どもは安心感をもって通所していますか。	48	2	1	2		子どもが登園日になると明るい表情になる。安心して楽しんでいると強く感じる。	あけぼの学園を利用して良かったと思っただけのよう、職員一同真摯に対応してまいります。
	27	子どもは通所を楽しみにしていますか。	49	3		1		園のある日だよと言うと子どもが「やったー」と喜んでいる。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	50	3				園に通いだしてからできることが増えた。 あけぼの学園に通ってよかったと心から思う。 バス登園があることで、公共のバスに1時間程度落ち着いて乗れるようになった。 園には満足しているが、働きながらだと行事参加や研修参加に難しさを感じる。	